

日本代表ジュニアにも選出
目標は東京オリンピック!!



日本代表として国際大会にも出場した得意種目のサーブル

大内選手

関東学生リーグ昇格を

目指し大活躍!!!

フェンシング部

サーブルジュニア
国内8位!

「国際大会で世界との差を痛感
東京五輪を目指して自分を鍛える」
大内拓徳選手(米沢東高校出身)
政経学部 経済学科2年



リーグ1部昇格を目指すフェンシング部。日本代表に選出され、フェンシング部エースとして活躍する大内選手に話を聞きました。
「ランキング戦でサーブルのジュニア8位となり、日本代表選手に選出されました。昨年11月に初めての国際大会となった『ジュニアワールドカップ・ドイツ大会』に出場しましたが、フランスの選手に敗れ1回戦敗退という悔しい思いをしました。世界の強豪選手と戦うとテクニクやスピードよりもパワーの差を感じることが多く、大会後はウエイトトレーニングを多く取り入れるようになりました。
3月にはヨルダンで開催された『2014カデ&ジュニアアジア選手権』に出場。予選プールで2勝し決勝トーナメント(1回戦シード)に進出しましたが、2回戦で優勝した中国の選手に敗れ28位という結果でした。ドイツでの経験を踏まえ、上位入賞を狙って



米沢東高校にバレー部がなかったため、高校からフェンシングを始めたという大内選手だが、高校2年次には東北大会優勝を果たしている

いた大会なので悔しさが残りまし
た。今後は、また国際大会に出場
できるような国内のランキング戦で
勝ち残っていきたいと思います。
当面の目標は拓大フェンシング
の1部リーグ昇格(団体です。念
願の1部昇格と、自分自身は国際
大会で活躍できる選手になり、
2020年の東京オリンピック出
場を目指します」

目標は1部リーグ昇格
応援よろしく
お願いします!

拓大フェンシング部(部員16名)は関東学生連盟リーグに所属し、フルーレ、エペ、サーブルともに現在2部。1部昇格を目指し、部員一同厳しい練習に励んでいます。応援よろしくお願いします! 選手のスピードやテクニク、勝利の雄たけびは迫力満点です! フェンシングに詳しくない人でも、試合を生で観戦すればきっと好きになると思います。

フェンシング部 主将
さくらい わこう
櫻井 和巧 選手
政経学部 経済学科4年
(合川高校出身)

ひとくくモ

フェンシングの基本ルール

フェンシングのルールを簡単に説明すると、フルーレ、エペ、サーブルの3種類の武器があり、これがそのまま種目名となっています。フルーレとエペには「攻撃権」があり、剣を持って向かい合った両選手のうち、先に腕を伸ばし剣先を相手に向けた方に「攻撃権」が生じます。相手がその剣を払ったり叩いたりして向けられた剣先を逸らせる、間合いを切って逃げ切るなどすると「攻撃権」が消滅し、逆に相手が「攻撃権」、すなわち反撃の権利を得ることになります。勝敗は通常15ポイント先取で決まります。

フルーレ

有効面は胴体のみ(背中を含む)。攻撃方法は突きのみ。攻撃→防御→反撃→再反撃といった瞬時の技と動作の応酬(剣のやりとり)が見どころ。

エペ

有効面は全身(足の裏も有効)。攻撃方法は突きのみ。前腕からつま先、機を見て接近戦へ。スピーディかつ変化に富んだ試合展開が見どころ。

サーブル

有効面は上半身のみ。攻撃方法は突きと斬り(カット)。斬りの技が加わるので、よりダイナミックな攻防が見られる。

- 2014年度 第67回
関東学生フェンシング連盟
リーグ戦(2部) 試合結果
駒沢体育館
- 男子フルーレ 3位
[5/12-13]
1位 慶應義塾大
2位 専修大
3位 拓殖大学(2部残留)
4位 立教大
5位 國學院大
6位 東京大
- 男子サーブル 1位
[5/20-21]
1位 拓殖大学(入替戦進出)
2位 慶應義塾大
3位 日本体育大
4位 学習院大
5位 東京大
6位 青山学院大
- 男子エペ 4位
[5/22-23]
1位 慶應義塾大
2位 中央大
3位 東京農業大
4位 拓殖大学(2部残留)
5位 立教大
6位 学習院大

拓大男子サーブルの入替戦は6月8日(日)に青山学院大学相模原キャンパスで開催予定。みんなで声援を送ろう!